

令和5年度（2023年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	大東商工会議所		
	代表者職・氏名	会頭 浅野 弘資		
	所在地	〒574-0076 大東市曙町3番26号		
	担当者	職・氏名	中小企業相談所長 山中 義秀	
		連絡先	TEL（直通）:	072-871-6511
Fax:			072-871-0330	
E-mail:	ymnk@daito-cci.or.jp			
①設立年月日	平成11年4月1日			
②職員数 (うち経営指導員数)	12名（経営指導員9名）（令和6年3月31日現在）			
③所管地域				
④管内事業所数	4,208（令和3年度経済センサス）			
⑤管内小規模事業者数	2,893（令和3年度経済センサス）			
⑥会員数（組織率）	1,728（令和6年3月31日現在）			
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること				
□主な事業概要（定款記載事項等）				
①商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し又は建議すること。				
②行政庁等の諮問に応じて答申すること。				
③商工業に関する調査研究を行うこと。				
④商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。				
⑤商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査を行うこと。				
⑥輸出品の原産地証明を行うこと。				
⑦商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。				
⑧商工業に関する講演会又は講習会を開催すること。				
⑨商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。				
⑩博覧会、見本市等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。				
⑪商事取引に関する仲介又は斡旋を行うこと。				
⑫商事取引の紛争に関する斡旋、調停又は仲裁を行うこと。				
⑬商工業に関して、相談に応じ、又は指導を行うこと。				
⑭商工業に関して、商工業者の信用調査を行うこと。				
⑮社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。				
⑯行政庁から委託を受けた事務を行うこと。				
⑰国際親善の増進を図ること。				
⑱前各号に掲げるもののほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行うこと。				

<p>(1) 事業の目標</p>
<p>今年度も原材料高騰・輸送コストの上昇・円安などにより地域の小規模事業者等が抱える経営上の問題点を把握・解決するため、巡回及び窓口相談を通して潜在的なニーズの収集、事業所に応じた適切かつ効果的なアドバイスと具体的な支援を行うことにより活力にあふれた地域経済を構築することを目標とした。経営相談支援事業においては、事業者が抱える課題について「課題の抽出・把握・提案・支援」と伴走型で支援を行い、問題解決のみならず中長期的な企業育成を目標とした。専門相談支援事業においては、個別の専門的な課題解決による経営の安定を図るため、各種専門家と連携し、あらゆる経営課題に対して迅速に対応解決することを目標とした。地域活性化事業においては、小規模事業者のニーズが高い経営課題をテーマとした各種セミナーを実施すると共に府連携及び広域連携、独自提案事業を行うことにより、販路開拓・マッチング・生産性向上・事業承継など小規模事業者の持続的発展へ向けた事業展開を目標とした。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p>
<p>経営相談支援事業では、巡回・窓口相談を通じて、経営環境が厳しい小規模事業者の金融支援や自社の強みを活かして経営改善に取り組むための事業計画書作成支援・販路開拓支援、インボイス制度導入に伴う対応など経営体質強化に向けた伴走支援を行った。専門相談支援事業では、取引上のトラブルへの対応方法や事業計画策定の他、労働環境改善に向けた労務対策、経営戦略やマーケティング力向上等専門的かつ高度な問題解決に対し、専門家を活用した支援を積極的に推進した。地域活性化事業では、経営の強化や安定・労働環境改善・起業促進等小規模事業者のニーズの高い幅広いテーマでのセミナーを開催し、販路拡大を求めている事業所には、広域で実施された総合展示商談会への参加を推奨することで、各社のビジネスチャンス拡大を図った。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p>
<p>経営相談支援事業については、小規模事業者等が抱える経営課題に対し、「課題の抽出・把握・提案・支援」という流れで伴走支援を行ったことにより課題解決に向けた支援を行うことができた。専門相談支援事業については、経営改善のための事業計画策定や労働環境改善のための労務対策など専門的かつ高度な相談に対し、多くの課題解決へとつなげることができた。地域活性化事業については、DX推進を含めたインボイス制度導入に向けた準備の推進の他、大阪府が提供する簡易版BCP様式によるBCP作成を促進した。また、起業家育成事業では、先輩起業家による事例紹介や各種経済支援施策を周知することで、その後の多様な伴走型支援につなげることができた。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p>
<p>経営環境のスピードが高まっており、中小企業・小規模事業者に対して課題設定・認識・把握・解決策の検討・実行・検証など経営課題設定の重要性を示すとともに伴走支援が求められる。また、個別の専門的な課題解決による経営の安定を図るため各種専門家と連携するとともに、小規模事業者のニーズが高い経営課題をテーマとした各種セミナーを実施することにより経営の持続的発展や地域活性化に貢献することが求められる。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p>
<p>小規模事業者等が抱える経営上の潜在的課題解決のため各種経済支援施策の普及に努めつつ、経営相談支援事業については、マル経融資推薦業務や事業計画作成支援を中心に、小規模事業者が抱える課題把握を行い最適な解決策を提示できるよう注力する。専門相談支援事業については、各種専門家と連携し専門的かつ高度な相談に対し、迅速な課題解決を図っていく。地域活性化事業については、人材確保・販路開拓・職場環境改善・起業家育成など小規模事業者等の持続的発展に向けた事業を実施することで地域の活性化に寄与したい。また、上記を推進する為、経営指導員の資質向上を図り、支援ノウハウの共有化・高度化へ向けた取り組みを展開していく。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 大東商工会議所

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

令和5年度も事業者の課題解決に向けた相談案件にも真摯に対応した結果、目標を7%上回る228件の事業所カルテ実績につながった。地域を支える数多くの事業者へのヒアリングを行い、浮かび上がった経営諸課題に対して課題解決および経営力向上に向けてのサービス提案に取り組み各種経済支援施策の普及に尽力した。特に、小規模事業者の持続化を支援する事業計画作成支援、労働者の雇用維持を支援する労務支援、インボイス制度導入に向けた準備や対応を推進していくための記帳支援等を精力的に実施した。

【代表事例】

S社は平成25年に個人事業者として開業し、日本伝統工芸である有田焼や低価格の美濃焼まで幅広く陶器の販売を開始した。今回、日本文化や伝統を訪日外国人に伝えるための活動型観光サービスの実施・国際交流の提供に向けた事業計画の立案支援を行った。

具体的には、S社が営む業界の市場動向から自社の強みやターゲット層・課題等について確認作業を行い、訪日外国人観光客が年々増加傾向にあることをチャンスと捉え、グローバル市場の開拓「おみやげ」として伝統陶器の購入、料理体験・着付け・酒造巡りなど古き良き日本の文化と伝統を体験することで地域の活性化・新規顧客獲得につながると考え事業計画の明確化に寄与した。

結果、伝統工芸品や体験内容の発信、ECサイトの構築など事業化の体制が図られ、地域の課題解決の一助・販売チャネルを増やすことによって同社の収益向上による持続的発展につなげることが期待できた。今後も必要に応じ金融や各種支援施策活用面で伴走型支援を行っていく。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	212	228	107.5%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	5	4	80.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	14	15	107.1%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	50	46	92.0%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	1	100.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	3	4	133.3%	5
記帳支援	事業所	60	76	126.7%	5
労務支援	支援数	50	36	72.0%	4
人材育成計画作成支援	事業所	0	5	-	-
マーケティング力向上支援	事業所	1	1	100.0%	5
販路開拓支援	支援数	17	13	76.5%	4
事業計画作成支援	支援数	35	37	105.7%	5
創業支援	事業所	1	1	100.0%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	0	0	-	-
コスト削減計画作成支援	事業所	0	0	-	-
財務分析支援	事業所	15	2	13.3%	1
5S支援	事業所	1	0	0.0%	1
IT化支援	事業所	0	1	-	-
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	-	-
事業承継支援	事業所	0	0	-	-
災害時対応支援	事業所	0	0	-	-
フォローアップ支援	事業所	0	0	-	-
結果報告	事業所	212	228	107.5%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

小規模事業者に対して今後の経営改善を図るため、課題設定・把握・課題解決に向けた各種経済支援施策の普及に努めた。

税務支援においては、近畿税理士会の支援の下、当所会館内に所得税及び消費税の相談会場を設け、インボイス制度導入相談や個人事業者が自書申告できるように税務支援を行った。金融支援においては、民間金融機関との取引が希薄な小規模事業者に対して、資金繰り改善につながる金融支援を行った。また、事業所が抱える経営諸課題の中でも、高度かつ専門的な課題に迅速に対応するため、専門家との連携を図り、迅速かつ有益な課題解決へ導くことを意識した専門家連携支援を展開した。

今後も専門家との連携を一層強化することで、ワンストップ機能を発揮し、迅速かつ有効な課題解決へ向けた支援を行っていく。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	新規	回数	19	2	10.5%	1
税務相談	継続	回数	2	20	1000.0%	5
金融相談	継続	回数	10	12	120.0%	5
労務相談	新規	回数	5	2	40.0%	2
その他相談	継続	回数	3	5	166.7%	5

4. 地域活性化事業

大東商工会議所

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>地域活性化事業については、これまでのセミナー開催時や経営相談時に小規模事業者から要望があった事業を企画し、参加事業所にメリットを感じてもらえる視点を重要視した。対象についても、業種や規模も意識しながら各事業ごとに一定のターゲットを設け、事業のPRや参加勧奨を図った。</p> <p>令和5年度も管内中小・小規模事業者の多くで経営課題となっている「人材確保支援」「販路開拓支援」「人材育成支援」「創業支援」といったテーマを中心に事業を推進した。特に「中小企業における高校生採用支援事業」「ものづくり教育道場」といった人材確保・人材育成支援事業を行政・教育機関・当所による三者の協力体制により推進した。また、創業支援の一環として「起業家育成事業」を行い、そこで得た情報を元に創業に向けた具体的なアクションプラン作成の支援を推進した。</p> <p>一例として「起業家育成事業」では、創業予定者や創業間もない方を対象として事業化に向けた知識習得や具体的なアクションを起こすことを目的としたセミナーを行った結果、「起業意欲が高まって、1年以内に創業できるよう準備を進めていく」「同世代の輝いている女性を見てすごく刺激を受けた」「先輩起業家や同じ悩みを抱えている方とディスカッションができ参考になった」などの感想をいただいた。また、こうした声を経営相談支援事業につなげることにより、課題に対応した支援を提案できたといった相乗効果も得られた。</p> <p>今後もオンライン等の活用機会を増やし開催方法等で一層の工夫を凝らし、引き続き地域活性化事業も積極的に推進していく。</p>										

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	中小企業人材確保セミナー	15	12	76.7%	100	アンケートにおいて人材確保に係るスキルが向上したと回答した割合	70	81.8	116.9%	5
	事業計画書作成セミナー	20	16	77.5%	80	アンケートにおいて事業計画書策定に取り組む意識が高まったと回答した割合	80	73.3	91.6%	5
	ビジネス講演交流会	70	53	75.7%	94.3	アンケートにおいて今後の経営改善のために役立ったと回答した割合	70	51	72.9%	4
	大東まちゼミ	40	30	75.0%	96.7	アンケートにおいて来店客数が増加した参加事業者の割合	80	73.3	91.6%	5
○	起業家育成事業	15	11	73.3%	100	1年以内に創業見込件数	3	5	166.7%	5
○	中小企業における高校生採用事業	10	15	150.0%	86.7	自社への理解促進や人材不足への支援に有意義だったとの回答割合	80	86.7	108.4%	5
	若手経営者交流会	30	23	75.0%	95.5	新しいビジネスの創出意欲が増したと回答した企業数	70	71.4	102.0%	5
○	中小企業の社長と若年求職者の交流事業	6	5	83.3%	100	アンケートにおいて自社の魅力発信意欲、採用意欲が増したと回答した企業数	70	80	114.3%	5
○	中小企業のための脱炭素経営セミナー	15	10	63.3%	88.9	脱炭素経営に取り組んでいくことを検討したいと回答した割合	70	22	31.4%	2
	大東の魅力発信物産展	25	26	104.0%	65.4	販路開拓につながったと回答した事業者	80	58	72.5%	4
	ものづくり教育道場	20	15	75.0%	91.7	参加事業者のうち、業務へ実践できるとの回答割合	80	96.4	120.5%	5
○	雇用・労働啓発セミナー	15	16	106.7%	75	労務管理のヒントを得た事業所の割合	70	56.3	80.4%	5
○	DXに関するセミナー	15	25	163.3%	91.7	ITを活用しようという意欲が高まった企業数	70	42.3	60.4%	4
○	BCP策定支援事業	17	19	111.8%	100	大阪府作成簡易版BCPシートを作成できた企業数	80	80	100.0%	5

(2) 広域事業（幹事事業のみ）

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	製造業のための安全道場	24	21	85.4%	100	安全対策の意識向上及び自社の労災事故減少に有益との回答割合	90	100	111.1%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

大東商工会議所

事業名		中小企業人材確保セミナー							
想定する実施期間		5 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	少子高齢化による労働力減少が深刻な中、新卒・中途採用を成功させるためには、「求める人材の明確化」「会社の強み」「アピールポイントの見直し」などWEBを含めた人材募集方法や面接・選考方法を再度見直す必要がある。そこで、有能な人材を確保するための採用に係る必要な知識や手法を習得し、今後の雇用環境改善につなげていく事を目的として開催。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域商工業の経営者、人事担当者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【開催日】令和 5年 7月19日(水) 昨今、働く環境の変化や若者の思考・マーケットの変化など人材採用への影響が大きい中、求職者・企業双方の動向分析に加え、幅広い年齢層の人材を採用するための「採用基準の重要性」「自社の魅力の見つけ方」など、円滑な人材採用を実現する上での必要な最新の情報を学んでいただくための実践的なセミナーを実施 〈テーマ〉 ①採用基準の作り方 ②他社と差別化するためのPRのポイント ③求職者を惹きつけるプレゼンテーション資料作成のコツ							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府担当部署担当者とカリキュラム内容について協議を行った。						
②広域連携									
③市町村連携	大東市からも企業募集案内の周知を凶っていただいた。								
④相談相乗	「労務支援」 カルテ化企業数 1社(カルテ化目標 5社)								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	11.5	支援実績率	76.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「人材採用スキルが向上した」「求める人材を考える中で、会社の強みと弱みを分析する重要性が理解できた」「求職者を惹きつけるプレゼンテーション資料の作成手法が参考になった」「参加者間で情報交換ができた」等意見が寄せられ、人材確保の進め方・準備の必要性について意識向上につながったと感じている。							
		代表指標	アンケートにおいて人材確保に係るスキルが向上したと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	81.8%	目標達成度	116.9%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ●採用基準を明確にしていく ●会社案内として他社と差別化するためのプレゼンテーション資料を作成していく ●インターンシップ・オンライン面接を取り入れていく 等、多数の感想が寄せられた。 N社では、今回のセミナーで学んだことを踏まえ、インスタ・TikTokなどSNS発信を行うこととなった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、人材確保に向けた選ばれる企業の情報発信、企業情報の魅せ方、選考ツールの精査など即戦力となる人材の効果的な採用に向けた支援が必要と考えている。							

大東商工会議所

事業名		事業計画書作成セミナー							
想定する実施期間		4 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	環境変化のスピードが速く先行き不透明な現在では、経営ビジョンや経営目標を明確化し事業計画書に落とし込み、その事業計画に沿って事業を遂行していく上で、クライアント・従業員・金融機関などステークホルダーと共有し事業展開を行っていくことが必須となっております。そこで、事業計画書作成のノウハウを習得してもらい、資金調達を容易にし、従業員の意識を大きく変革し、経営強化につなげていくことを目的に開催。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種は問わず、経営力強化に取り組む管内事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【開催日】令和 5年 5月12日(金)・5月16日(火)</p> <p>販売促進を進める際の「売上アップの基本法則」「マーケティングの視点」「客単価・購買頻度アップの手法」「オンライン集客」などの考え方を再認識し、小規模事業者持続化補助金及び事業再構築補助金に係る事業計画書の作成ポイント、審査ポイントや加点ポイントなど記載すべき項目を学んでいただくための実践的なセミナーを実施</p> <p>〈テーマ〉</p> <p>①販路開拓及び販促の効果的な進め方 ②小規模事業者持続化補助金・事業再構築補助金の概要と取組事例 ③事業計画書作成のポイント</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
		③市町村連携	大東市からも企業募集案内の周知を図っていただいた。						
	④相談相乗	「金融支援」「事業計画作成支援」 カルテ化企業数 6社(カルテ化目標 10社)							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	15.5	支援実績率	77.5%	満足率	80.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「事業計画書策定に取り組む意識が高まった」「効果的な事業計画書の作成方法が理解できた」「魅力あるお店作りの参考になり、もっと努力する」等意見が寄せられ、自社の現状や課題の見極め、お客さんに選ばれる理由について意識向上につながったと感じている。							
		代表指標	アンケートにおいて事業計画書策定に取り組む意識が高まったと回答した割合						
		数値目標	80%	実績数値	73.3%	目標達成度	91.6%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ●自社のSWOT分析を行い、強みや弱みの把握、経営理念・ビジョンの作成を行っていく ●現在置かれている状況を常に見定め、実現に向けて行動していく 等、多数の感想が寄せられた。 <p>T社において、ウイズコロナ禍での顧客満足度向上のための店舗改装や新規顧客開拓のためのGoogle Mapを活用したオンライン集客を行うこととなった。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、中・長期的な経営計画の作成、新しい販売方式の導入、差別化できる商品開発などに向けた支援が必要と考えている。							

大東商工会議所

事業名		ビジネス講演交流会							
想定する実施期間		28 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地域商工事業者は、デフレや円高からの脱却により景気回復の期待の高まりがあるものの、依然厳しい経営環境にさらされながら業績改善のため付加価値の向上や販路開拓に取り組まれているのが現状である。 そこで、経営戦略や強い組織づくりなどをテーマとした講演会を開催することにより、経営力の向上・組織強化による地域経済の活性化に資することを目的にビジネス講演会・交流会を開催。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小・小規模事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	ウイズコロナの中、地域経済への活力を高め、存在感を高める大東市を目指すために個社の強みを活かしつつ、地域全体で取り組む事業展開が必要であり、地域経済の活性化に資する講演会及び交流会を開催。 【開催日】 令和 5年 9月28日(木) 【場所】 大東市立市民会館 キラリエホール 【講師】 京都大学大学院 教授 【テーマ】 「強靱な日本経済を目指して～経済政策はどうあるべきか～」							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携									
④相談相乗	「労務支援」「金融支援」「販路開拓支援」等 カルテ化企業数 6社 (カルテ化目標 30社)								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	70.0	総支援企業数(実績)	53.0	支援実績率	75.7%	満足率	94.3%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回の講演会を開催したことにより、「今後の経営改善のために役立った」「異業種の事業者と情報交換ができ、自社のPRができた」「日本経済の現状や今後の動向が理解できた」等意見が寄せられ、今後の経営戦略に向けた計画策定や事業展開の幅が広がったと感じている。							
		代表指標	アンケートにおいて今後の経営改善のために役立ったと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	51.0%	目標達成度	72.9%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ●社会情勢の変化に対応し、DX化への技術革新により課題解決に向けた取り組みを推進していく ●柔軟な発想を活かした新たなビジネスモデルの構築・事業展開を図っていきたい ●経済政策の動向にアンテナを張り、経営戦略に取り組んでいく 等、多数の感想が寄せられた。 <p>A社は、交流会の場で現在進めている事業を紹介することによって受注の引き合いに繋がったとの事。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や今後の事業展開への知識習得については、一定の成果が上げられたと感じている。しかし、事業者にとって多忙な時期に開催したことにより、小規模事業者の参加が低調であった。(金融機関の参加者が多かった) また、アンケートの回収に関しては回収できていない事業所もあり、今後の事業開催時には積極的な回収が必要と考えている。 引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、課題解決に向けた支援が必要と考えている。 (支援企業として60社であったが、9社の事業者よりアンケート未回収) (講演会参加企業数 68社<内、金融機関8行> 136名 交流会 80名)							

大東商工会議所

事業名		大東まちゼミ							
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商業統計調査によると、大東市の小売業の事業所数は2002年の1,002件から2016年には538件へと5割近く減少している。このような状況の中、各個店の店主が商品知識やノウハウを提供することで新規顧客との出会いの場をつくり、各商店とお客様との交流を通し、各店主へのファンづくりを展開する本事業「大東まちゼミ」の更なる推進により新規顧客獲得の可能性拡大につなげていく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大東市内の小売業・サービス業を中心に、自らの商品知識やノウハウの情報発信が可能な事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	地域のお店の方が講師となって、プロならではのコツや専門知識から趣味の話までノウハウ等を無料で受講者(顧客)に伝えるコミュニケーション事業「大東まちゼミ」を開催。 大東市報に案内パンフレットを同封するとともに、受講者に対してまちゼミ限定クーポンを配布することにより受講促進・販わい創出等相乗効果を図った。 【開催期間】 令和5年10月7日(土)～11月5日(日)							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	案内パンフレットを大東市報に同封し、約5万世帯に周知								
④相談相乗	「事業計画作成支援」カルテ化企業数 1社(カルテ化目標 参加事業所の25%以上)								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	30.0	支援実績率	75.0%	満足率	96.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回の大東まちゼミ事業を開催したことにより、各社がこだわりの逸品の開発や付加価値を付けたサービスの創造ができたと感じている。また、自店の強みやセールスポイントの見直しをしたことにより、自店の効果的なアピール・新規顧客の獲得に向けた取り組みにつながったと感じている。							
		代表指標	アンケートにおいて来店客数が増加した参加事業者の割合						
		数値目標	80%	実績数値	73.3%	目標達成度	91.6%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ●新規の顧客が獲得できた ●費用対効果につながった ●新分野の立ち上げを検討していく 等 多数意見が寄せられた。 <p>〇社は新規顧客獲得につながり満足されており、参加いただいた受講者とInstagramでつながり、引き続き情報発信を行い自店のイメージアップに取り組んでいくとの事。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や新規顧客の獲得数については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、販路開拓の支援を行なっていくとともに、顧客満足度向上の手法やマーケティング戦略等の支援が必要と考えている。 <目標達成度: 5名以上 22/30>							

大東商工会議所

事業名		起業家育成事業							
想定する実施期間		4 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症の拡大により我が国経済に甚大な影響をもたらしており、ウイズコロナを見据えた経済活動が求められている。一方で政府は開業率の10%を目標に掲げ、開業率の底上げに向けた支援を強化することとしている。現在、当市では市並びに地域金融機関と連携を図りながら創業支援に取り組んでいる。そこで、創業を目指している方や創業間もない方を対象として、創業者に必要な知識や創業に向けて具体的なアクションを起こす契機を提供するとともに、知識支援機関と連携してフォローアップし、地域経済の活性化と安定的発展に寄与することを目的として開催。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大東市や近隣に在住する創業予定者、創業間もない方、副業起業予定者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【開催日】令和5年8月5日(土)・8月19日(土)・8月26日(土)・9月2日(土) 創業前の方や創業後間もない方を対象に、創業前・創業後それぞれに必要な知識の習得、創業計画書の作成方法、資金調達の方法、さらに創業後に成功するためのアドバイスなど実践的なセミナーを実施。また、先輩起業家からの実例や創業に関する支援制度、受講者間でのディスカッションを実施。 〈テーマ〉 ①創業の心構えと創業に必要な知識、先輩起業家による実例紹介 ②経営・販路開拓の基礎知識 ③財務・労務の基礎知識 ④ビジネスプラン策定 ＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	大阪府担当部署担当者とのカリキュラム内容について協議を行った。						
		②広域連携							
		③市町村連携	大東市からも企業募集案内の周知を図っていただいた。						
④相談相乗	カルテ化企業数 2社(カルテ化目標 5社)								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	73.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「起業意欲が高まって、1年以内に創業できるよう準備を進めていく」「同世代の輝いている女性を見てすごく刺激を受けた」「先輩起業家や同じ悩みを抱えている方とディスカッションでき参考になった」等意見が寄せられ、ビジネスプランの立て方や創業に向けた進め方・準備の必要性について意識向上や創業への第一歩につながったと感じている。また、講師や先輩起業家・参加者間(グループディスカッション)で話し合うことにより身近に感じ、今後の展開を期待している。							
		代表指標	1年以内に創業見込件数						
	数値目標	3	実績数値	5	目標達成度	166.7%			
	成果の代表事例	●頭の中でモヤモヤしていたことが少し明確になった ●お客さんのニーズや自社の強みを深堀していく ●創業に向けたタイムマネジメントをしっかりとっていく 等、多数の感想が寄せられた。 N氏は、今回のセミナーで学んだことを踏まえ、事業アイデア・コンセプトを検討しアクションプランを立案することとなった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、創業に向けたビジネスモデルの検討や検証、企業情報の魅せ方、資金計画や収支計画の立て方など夢の実現に向けた支援が必要と考えている。							

大東商工会議所

事業名		中小企業における高校生採用支援事業						
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	従業員300人未満の企業の求人倍率は、5.31倍と高止まりの状況で、中小企業にとって人材確保は依然として大きな課題となっている。こうした中、高校生の採用を強く求めている地域の中小企業に対し、これからの地域、ひいては大阪を担う高校生が中小企業等の魅力に触れる機会をより多く創出することが重要となってくる。 そこで、大阪府立城東工科高等学校の学生に対し、製造業を営む中小企業の魅力に触れる機会を創出するべく本事業を展開する。本事業を展開することにより、地域の中小企業と城東工科高等学校生間の橋渡しを行い、人材不足に深刻な課題を抱えている製造業を営む中小企業に人材面の支援を行うことを目的とする。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	人材不足の課題を抱えている製造業の事業所全てを対象とする。						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	◇実施体制：大阪産業大学、大東市、大東商工会議所の3者連携にて実施。具体的には、城東工科高等学校が学生を派遣、市は広報、当所は受入企業の募集や事業運営全般を担当することで互いに協力し合った。 ○実施時期：2023年9月4日（月）～9月7日（木） 13時から16時で、各社2日間実施 ○実施場所：参加企業（製造業） 15社 ○実施内容 ・申込企業を対象に7月12日（水）事前説明会を当所とオンラインにて開催 ・城東工科高等学校の2年生が、4名前後のグループをつくり、15班に別れ各社を2日訪問し企業概要説明から就業体験を実施 ・後日（9月28日）には、訪問した企業の経営幹部や若手社員等とのインタビューを実施 ・参加企業と学校生徒との企業体験発表会を11月2日（木）高校現地とオンラインにて開催 ・参加企業と教員による反省会を12月6日（水）大東市役所とオンラインにて開催						
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>						
		①府施策連携	大阪府 雇用推進室 就業促進課と打合せを行った。また、企業体験発表会時には、大阪府 雇用促進課 就業促進課の施策であるOSAKAしごとフィールドのパンフレットとセミナー情報を参加企業へ提供した。					
		②広域連携						
③市町村連携	大東市との連携で、本取り組みを広報いただいた。							
④相談相乗	本事業を通じて、参加事業所の労務支援や人材育成計画作成支援といった面におけるプラスの相乗効果が認められた。（カルテ化4社：27%）							
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	10.0	総支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	150.0%	満足率	86.7%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	アンケートを実施したところ、満足率は86.7%であった。城東工科高等学校で学ぶ学生の企業訪問を受け、企業概要説明から就業体験等を実施したことで、参加企業から以下の感想を得た。 ・社員にとっても改めて自分の仕事を振り返る機会になったと思います。 ・学生の興味や意識している点を感じる事ができました。 ・基本的に企業が直接工科高校の生徒さんと触れ合う機会がほとんど無いなか、本事業は貴重な機会となりますので、今後も継続活動として続けて頂きたい。 ・高校生採用は苦戦しており、地元の企業としてPR出来た事は良かったです。 ・ご来社頂いた2年生の方々の中から将来弊社に入社したいとおっしゃって頂ける人が一人でも出てくるように弊社も魅力的な会社になるよう努力致します。 本事業を実施した結果、参加企業の魅力増進や理解促進につながるだけでなく、人材不足に課題を抱えている製造業を営む中小企業にとって課題解決へのきっかけづくりを支援する事業になった。						
	代表指標	自社への理解促進や人材不足への支援に有意義だったとの回答割合						
	数値目標	80%	実績数値	86.7%	目標達成度	108.4%		

	<p>成果の代表事例</p>	<p>上記の感想以外にも「先生方から現在の就職状況をお聞きでき、少子化で募集をかける側も考えを改めないと人員を確保するのが難しいと知れたので良かったです」「高校生採用は苦戦しており、地元の企業としてPR出来た事は良かったです」「地元の工科高校との連携で弊社のことを知っていただくことができ、大変有益でした」などの感想を頂戴した。 その他、M社からは「学生の取組み姿勢が素晴らしく、実施する側の私たちはやりがいを感じました」との感想も頂き、参加企業の人材育成にも有益な事業になったと考える。</p>			
	<p>その他目標値の実績</p>	<p>目標値 (計画)</p>		<p>目標値 (実績)</p>	<p>目標達成度</p>
<p>実施結果</p>	<p>課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)</p>	<p>今回就業体験中に学生一名が体調不良を訴えられたとの報告を受けた。次年度以降は、学校を出る前に学生の体調を十分確認いただくよう注意を促したい。</p>			

大東商工会議所

事業名		若手経営者交流会							
想定する実施期間		5 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	市内中小企業の若手経営者においては、ビジネスに有益なネットワークづくりの場を欲している一方で、若手経営者に特化した交流の機会は不足している。そこで、自由な雰囲気の中気軽に名刺交換や情報交換が可能な交流会の場を提供し、事業者間ネットワークの構築、取引機会の創出、地域経済の活性化促進を図る。 具体的には、市内中小企業の若手経営者を対象とした交流会を実施する。若手経営者同士での交流を深めることにより、従来とは異なる製品・商品の開発、人脈・取引の拡大に加え、若手経営者の悩みを共有することなどで今後幅広い経営課題の解決にも役立てることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小企業の若手経営者（事業後継予定者を含む）							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【実施日時】 令和5年8月29日（火） 18時～20時 【場所】 大東市立市民会館 4階 大会議室 【具体的な内容】 ○第1部 自社紹介 ・オリエンテーション、1社1分間PR ○第2部 交流懇親会 ・名刺交換、交流会							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
③市町村連携	大東市との連携で、本事業をSNSやFAX情報などにて広報いただいた。								
④相談相乗	本事業を通じ、参加者のネットワークや取引機会の拡大に関する意識が高まり、販路支援のカルテ化など相談支援事業との相乗効果が認められた。（カルテ化8社：36%）								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	22.5	支援実績率	75.0%	満足率	95.5%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	アンケートを実施したところ、満足率は95.5%となり、以下の感想（抜粋）を頂戴した。 ○繋がりができて良かったです。 ○新たな発見があり楽しかった！ ○とても良かったです。地元愛が増しました。 ○初めての経験でしたが、とても満足しました。 ○知っている顔がいて、リラックスして交流ができました。 ○関連のある業種の方がいらっしゃったので、ビジネス面で今後もつながっていけそうで、参加して良かったです。 参加者の上記感想からも、本事業の自社紹介や若手経営者間の交流懇親会といった事業が参加者の今後のネットワーク拡大や取引機会創出の契機になったと考える。							
		代表指標	新しいビジネスの創出意欲が増したと回答した企業数						
		数値目標	70%	実績数値	71.4%	目標達成度	102.0%		
	成果の代表事例	「本事業を通じて、新たなビジネス創出意欲が増したので良かった」との回答を、参加企業23社中、16社の方より頂戴した。 また、H社から「関連のある業種の方がいらっしゃったので、ビジネス面で今後もつながっていけそうで、参加して良かったです」、A社から「具体的な繋がりができて良かったです」など、本事業が参加者の新しいビジネスの創出意欲醸成に有意義であった可能性が複数件示された。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	40代の参加者が最も多く、20代・30代の若い世代の経営者やものづくり企業からの参加者が少なかったことが課題だと捉えています。また、グループワーク的なものを付加する提案を参加者から頂いたので、参加者間のネットワークや取引機会を拡大させる工夫を加味しながら、次年度以降も本事業をより効果的に実施したい。							

大東商工会議所

事業名		中小企業の社長と若年求職者の交流事業							
想定する実施期間		26 年度～		年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	グローバル化や少子高齢化、そしてコロナ禍など社会の急激な変化は、産業構造の変化や労働市場、就業状況の流動化など、社会や企業に対して大きな変容をもたらしています。そのような中、企業は将来に活路を見出す原動力として有為な人材を切望している一方、就職や将来の進路に不安や悩みを持つ学生が増加しています。ついては大学と中小企業の橋渡しを行うことを目的に本事業を実施する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	積極的に地元学生の育成や雇用を検討している地域中小企業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【実施時期】 令和5年6月26日・29日、1月18日・22日に実施（全5コマ） 【具体的な内容】 ①社長講話 テーマは「働くということ」「業界のこと」「仕事の意義」等。自社紹介を行い魅力を伝えた。 ②学生との交流意見交換 社長講話を受け、今度は学生側から質疑応答形式で、講話の内容などに関する意見を述べることで双方向の理解促進、相互交流を図った。 ・OSAKAしごとフィールド、および技専校の紹介							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	OSAKAしごとフィールド、および技専校の紹介を行った。府のご担当が当講義を見学。						
		④相談相乗	本事業を通じて、自社の魅力発信意欲や採用意欲を向上させた。カルテ化は1社						
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	6.0	総支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	83.3%	満足率	100.0%	
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	満足度アンケートを実施したところ、満足度は100に対し「76」であった。社長と学生のやりとりが行われるなかで、「学生の興味のあることなどを身近で感じる事ができた」「学生に力を与え、そして私も力をもらえるよう進んでいけたら」、そして「採用意欲があるが、学生さん達がなかなか来てくれないのでPR、発信力が必要と感じている」といった感想をいただけ、企業サイドの採用意識を醸成することができたと考えている。 また受講された学生のレポート（感想）も提出され、学生参加者数は延べ407名であった。							
	代表指標	アンケートにおいて自社の魅力発信意欲、採用意欲が増したと回答した企業数							
	数値目標	70%	実績数値	80.0%	目標達成度	114.3%			
成果の代表事例	若者とのふれあいが出来れば、そして大東市にあるものづくり企業を知ってほしいということで講義いただいた社長から、今の学生がどんなことを考えているか知ることができ、採用意欲が向上したことをはじめ、さらにPRしていくこと、発信力が必要であることに気づき有意義であった、との感想をいただいた。また、同社は府内の他大学（キャリアセンター）とも関係を深めるべく努力されている。								
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	令和6年度より、これまで1回生を対象としていた同講座を、より業界・企業研究を前に出したキャリア教育とし、また規模（講義のコマ数）を拡大のうえ、2回生を対象として実施する。時期は令和6年4月～7月で「13講座」を行う。そのことで一層の講義内容の浸透と、そして交流がより深まることを期待している。ついてはより一層「自社の魅力発信意欲、採用意欲が増したと回答した企業数」を増やしていきたいと考える。							

大東商工会議所

事業名		中小企業のための脱炭素経営セミナー							
想定する実施期間		5 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現在の気象状況は、もはや単なる「気候変動」ではなく、すべての生き物の生存基盤を揺るがす「気候危機」と言われている。その原因となっている温室効果ガスは、日常生活・経済活動によって排出されており、カーボンニュートラルの実現に向けて、事業者をはじめあらゆる主体が取り組む必要がある。ついては当セミナーを実施し、脱炭素経営の進め方を学び、自社のカーボンニュートラル実現に向けた手がかりを提供する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域の中小事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【実施時期】 令和5年9月12日に実施 【具体的な内容】 ①中小企業の脱炭素に向けての動向と施策（近畿経済産業局より） ②大阪府の脱炭素に向けた取り組み（大阪府より） ③CO2排出量の見える化（OSAKAゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション、並びに(株)バックキャストテクノロジー総合研究所より） ④名刺交換							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	講師のご紹介をいただいた。また大阪府の脱炭素・エネルギー政策課の担当者に講義をいただいた。						
		②広域連携							
③市町村連携									
④相談相乗	本事業を通じて、脱炭素経営に向けての取り組みの啓発を行った。カルテ化は1社								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	9.5	支援実績率	63.3%	満足率	88.9%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	「カーボンニュートラルに関して学びたい」「ゼロカーボンに関する対策情報を学びたい」「脱炭素というものをもっと知りたい」といった方々に対して十分応えうるセミナーの内容であったと考える。また「脱炭素経営に取り組んでいくことを検討したいと回答」いただいた方が2社あり、今後、具体的な脱炭素経営に向けた行動が期待できる。しかし一方、7社は脱炭素経営に取り組んでいく、には至らず、今後の課題と認識している。							
		代表指標	脱炭素経営に取り組んでいくことを検討したいと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	22.0%	目標達成度	31.4%		
	成果の代表事例	廃食用油脂の回収、リサイクルを行っている会社の方が参加され、最新の脱炭素経営に係る知見を得られた。その結果、令和5年11月に、だいたいオープンファクトリーコンタクト（工場見学のイベント）に参加された同社は、脱炭素経営に係る知見をバックボーンに、見学者に廃油から精製していく工程やできあがった美しい油などの説明、展示などを実施した。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	セミナー前日の参加予定者は15名であったが、当日の欠席が4名となった。脱炭素経営への取り組みも重要であるが、「目の前の仕事」を優先された結果ではないかと考える。ついては今後においては、脱炭素へのアプローチは、「明日の仕事ではなく、今日の仕事」ということをしっかりとお伝えすることを意識し、次年度は「脱炭素時代の商品開発セミナー」を実施したい。							

大東商工会議所

事業名		大東の魅力発信物産展							
想定する実施期間		R5 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大東商工会議所青年部が主催する「大東YEGフェスティバル」において、令和4年11月3日に開催した際は約5,800名の来場者があった。令和5年度も開催予定で、この絶好の機会を活用し、大東市内の事業所を中心として商品や製品・サービスの魅力を発信する場を設け、ビジネスチャンスの創出や販路拡大など、新たな取引先の拡大を目的として実施する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	主に大東市内に所在する事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【日時】令和5年11月23日(祝)9時30分～17時</p> <p>【会場】アクティブ・スクウェア・大東</p> <p>大東YEGフェスティバル2023の一環として実施。マルシェ34店舗、グルメ16店舗が出店。他にもキッズワーク(仕事体験コーナー)やスポーツ体験コーナー、舞台を設置してのパフォーマンス等を実施し、晴天にも恵まれ約4,200名の来場者があった。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
	①府施策連携								
	②広域連携								
③市町村連携	大東市、大東市教育委員会、日本商工会議所青年部の後援をうけ、チラシの配架等で協力いただいた。特に教育委員会には大東市内の小・中学校全生徒へのチラシ配布にも協力してもらった。								
④相談相乗	事業計画書作成支援カルテ化企業数 2社								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	104.0%	満足率	65.4%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>今回の魅力発信物産展を開催したことにより、各社がこだわりの逸品やサービスを提供し、売上・知名度の向上、新たな新規顧客の獲得につながった。また、新たな商品開発や付加価値を付けたサービスの創造に向けた意識の醸成ができたと感じている。他にも自店の強みやセールスポイントの見直しをしたことにより、自店の効果的なアピール・新規顧客の獲得に向けた取り組みにつながったと感じている。</p> <p>今回マルシェのメイン会場となった体育館が改装工事中の期間と重なってしまい、多くの来場者があったにもかかわらず体育館に思ったよりも人が流れず、満足度が65.4%とやや低い数値となってしまった。</p> <p>出店者同士での交流もあり、レイアウトの工夫等の意見交換・情報交換が出来て良かったとの声もあった。</p>							
	代表指標	販路開拓につながったと回答した事業者							
	数値目標	80%	実績数値	58.0%	目標達成度	72.5%			
	成果の代表事例	来て頂いたお客様から「お店があるのは知ってたけど行ったことはなかった。食べてみたら美味しかったのでまたお店に行きます」との嬉しいお声も頂き、後日本当に来店され、新規顧客の獲得につながった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	5,000	目標値(実績)	4200	目標達成度	84.0%			
	前年度の来客数を元に目標値を決定したが、大阪市内や大東市内でも他に大きなイベントが実施され、集客が想定よりも伸びなかった。								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	Googleフォームにてアンケートの依頼をしたが回収がなかなか難しかった。マルシェのメイン会場となった体育館が改装工事中だったため、入り口や何をやっているかが分かりずらく、また体育館は靴を履き替える必要があったため多くの来場者があったにもかかわらず各店舗への来店客数が伸び悩み、結果的に満足度にも影響してしまった。次回は会場の変更や体育館の床を養生するなどを検討したい。							

大東商工会議所

事業名		ものづくり教育道場							
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大東市は、大阪東部のものづくり集積地の一翼を担い、はん用機械器具・金属製品・生産用機械器具・非鉄金属など多様な業種で構成されている製造業が基幹産業である。他方、全体として優れた技術力、小ロット、短納期などに対応しているものの、最終製品を製造している事業者が少なく、市場での認知度が低く、経営基盤は総じて脆弱である。また、後継者不足や雇用面での人材不足なども大きな課題となっている。 こうした中、管内基幹産業の生産性向上を図る目的で、産学官連携体制による製造業を対象とした人材育成事業「ものづくり教育道場」を展開し、結果として域外経済の流入を増加させ地域経済の活性化に貢献する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	主に大東市内のものづくり企業							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	第1回 【日時】令和5年6月30日(金) 13時30分～16時30分 【会場】大東市立市民会館 2階 202会議室 【講師】大阪産業大学 工学部 機械工学科教授 【内容】ものづくり現場に不可欠な報告書作成等において必要とされる読解力や文章表現の基礎知識を学ぶ。 第2回 【日時】令和6年2月15日(木) 13時30分～15時30分 【会場】大阪産業大学 東キャンパス 18号館 【講師】大阪産業大学 工学部 機械工学科教授 【内容】ものづくり現場に携わる初心者を受講対象者とし、生産性(作業時間、工具寿命)、加工精度に影響を及ぼす切削条件を適切に選定できる人材を育成します。 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
		③市町村連携	大東市からも企業募集案内の周知を図っていただいた。						
	④相談相乗	カルテ化企業数：4社(カルテ化目標参加企業の50%以上)							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	75.0%	満足率	91.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーは、第一弾ではものづくり現場に不可欠な報告書作成等において必要とされる読解力や文章表現の基礎知識を学び、ビジネスで必要とされるのは「論理的な文章」である。セミナーでは、大阪産業大学機械工学科の「テクニカルコミュニケーション」という授業を一部アレンジし、「論理的な文章」を学ぶほか、「説明責任」「営業秘密」などの技術者倫理を学んで頂いた。第二弾ではものづくり現場に携わる初心者を受講対象者とし、生産性(作業時間、工具寿命)、加工精度に影響を及ぼす切削条件を適切に選定できるための技能習得を目指した。受講者は若手の社員が多く、業務にも実践できるとの回答も目標値を達成することができた。また、参加者満足度も高いセミナーとなった。							
		代表指標	参加事業者のうち、業務へ実践できるとの回答割合						
		数値目標	80%	実績数値	96.4%	目標達成度	120.5%		
	成果の代表事例	回転、送りが決まっているデータ加工が主なので切削条件の決め方を学びたくて受講され、加工面の状態が悪い時に今回の「切削条件の決め方」を使用し解決できるようになった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	製造業が基幹産業の当市において、製造業向けのセミナーを実施することは需要もあり来年以降も引き続き実施していく。内容については市や大学、ものづくり企業へのヒアリングなどを通じて検討していきたい。							

大東商工会議所

事業名		雇用・労働啓発セミナー																													
想定する実施期間		3 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																													
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	安倍内閣の「働き方改革」が本格的に施行され始め、2020年4月から中小企業の時間外労働の上限規制の適用が始まった。臨時的な特別の事情があっても年6回までで、かつ時間外労働は年720時間以内、時間外労働と休日労働をあわせて月100時間未満かつ複数月(2～6カ月)平均で80時間以内とする必要がある。労働者の残業時間を減らすために、労働環境の改善に向けた取組や人材確保等に取り組む必要があるが、中小企業の状況は依然厳しいものがある。 そこで、本事業を通じて中小企業に働き方改革関連法や民法改正に伴って変更となる賃金関係の知識の習得と同時に、就業規則の変更や労働環境の改善例とその効果、人材確保に向けての具体的な取り組み例や成功事例を紹介する事で、労働者が働きやすい雇用環境となり、経営の安定化を図る事ができるようになることが、本事業の目的である。																													
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域商工業者の事業主、管理職、総務・人事・労務担当者等																													
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【開催日】令和 5年10月17日(火)</p> <p>会社に必要な労務の基礎知識や実際にあった労務トラブルやその解決法などの実践的なセミナーを実施(テーマ)</p> <p>【労務問題対策セミナー】</p> <p>会社として必要な労務についての基礎知識の紹介や実際にあった労働者との労務トラブル事例の紹介やその解決方法、最新の判例の紹介やパワハラとなるような事例について など</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="5">大阪府とカリキュラム内容や講師の選定を協議した。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="5">大東市には、チラシの配架による周知を依頼した。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="5">「労務支援」等 カルテ化企業数 0社(カルテ化目標 5社)</td> </tr> </table>						①府施策連携	大阪府とカリキュラム内容や講師の選定を協議した。					②広域連携						③市町村連携	大東市には、チラシの配架による周知を依頼した。					④相談相乗	「労務支援」等 カルテ化企業数 0社(カルテ化目標 5社)				
	①府施策連携	大阪府とカリキュラム内容や講師の選定を協議した。																													
	②広域連携																														
③市町村連携	大東市には、チラシの配架による周知を依頼した。																														
④相談相乗	「労務支援」等 カルテ化企業数 0社(カルテ化目標 5社)																														
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	106.7%	満足率	75.0%																							
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>今回のセミナーを開催したことにより、「具体的な事例の紹介や、例えばこのような事例といった具体的な説明も多く、セミナー内容は非常にわかりやすかった」「基本的なところでも見落としがちなこともあり、きちんと定めておかないと大変なことになると感じました。うつ病の対策についても大変参考になりました」「ハラスメントやメンタルヘルスについては実際の職場においてもよくある事等であり、大変参考になりました」等意見が寄せられ、労務管理についての理解が深まり、労働者が働きやすい環境となるような取組みにつながったと感じている。</p> <table border="1"> <tr> <td>代表指標</td> <td colspan="6">アンケートにおいて労務管理体制の見直しの必要性を感じたと回答した割合</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>70%</td> <td>実績数値</td> <td>56.3%</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="2">80.4%</td> </tr> </table>						代表指標	アンケートにおいて労務管理体制の見直しの必要性を感じたと回答した割合						数値目標	70%	実績数値	56.3%	目標達成度	80.4%											
代表指標	アンケートにおいて労務管理体制の見直しの必要性を感じたと回答した割合																														
数値目標	70%	実績数値	56.3%	目標達成度	80.4%																										
成果の代表事例	<p>●B社はハラスメント対応で部下の扱いに悩んでいた社員が講義を聞いて、就業規則等に規定を設け、労働者に周知・啓発することとなった。</p> <p>●大変勉強になりました。</p> <p>●直近の事例ももりこまれていたので、面白かったです。裁判に勝っても労務管理的には負け！じゃないかなは名言でした。</p> <p style="text-align: right;">等、多数の感想が寄せられた。</p>																														
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																										
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の現在の状況や問題点を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、効果的な課題解決に向けた支援が必要と考えている。																													

大東商工会議所

事業名		DXに関するセミナー																																							
想定する実施期間		28 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	DXは、情報の収集・蓄積、解析、反映・応用により、産業のあらゆる面において変化をもたらし、あわせてビッグデータやAIの活用により、各産業のビジネスや産業構造そのものを大きく変革されている。更にビジネスだけに留まらず、社会分野等の幅広い分野での活用の可能性も期待され、今後あらゆる産業や分野がDXに取り組んでいくことが予想される。それにより大きな経済的効果を期待されている。また、コロナ禍における今後の企業の発展にも大きく関わってくると思われる。 そこで、DXの推進がもたらすであろう今後の経済とビジネスの変化について予測し、柔軟に自社に導入する事ができるように、毎年進化しつつある現状を踏まえた上で「自社でDXを推進してみる」事が検討できるようなセミナーを実施する。																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、今後IT/IoT化やDXに関心のある事業者。現在、取り組んでいないが取り組む意欲や予定のある事業者。また取り組んでいても、うまく活用ができていないと感じている事業者など。																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【開催日】令和 5年 9月 6日(水)</p> <p>インボイスの実務ポイントと電子帳簿保存法の対応方法、ChatGPTとデジタル活用についてセミナーを実施</p> <p><テーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インボイスの実務ポイント <p>インボイスの概要や導入の最の注意点、非登録事業者と取引をする場合の影響や価格表示のルール、税付帯及び事務負担の軽減措置や2割特例について など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子帳簿保存法の対応方法について <p>電子帳簿保存法のルール説明や実務のポイント、クラウドを活用した業務の効率化について など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ChatGPTとデジタル活用 <p>ChatGPTとは、また企業導入例についての具体的な説明や今後の展開。活用事例及び中小企業における有益なデジタル活用事例について など</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">大阪府とカリキュラム内容や講師の選定を協議した。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">大東市には、チラシの配架による周知を依頼した。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">「IT化支援」等 カルテ化企業数 2社(カルテ化目標 5社)</td> </tr> </table>								①府施策連携	大阪府とカリキュラム内容や講師の選定を協議した。							②広域連携								③市町村連携	大東市には、チラシの配架による周知を依頼した。							④相談相乗	「IT化支援」等 カルテ化企業数 2社(カルテ化目標 5社)						
	①府施策連携	大阪府とカリキュラム内容や講師の選定を協議した。																																							
	②広域連携																																								
	③市町村連携	大東市には、チラシの配架による周知を依頼した。																																							
④相談相乗	「IT化支援」等 カルテ化企業数 2社(カルテ化目標 5社)																																								
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	24.5	支援実績率	163.3%	満足率	91.7%																																	
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「インボイス制度のよく分からなかった所や電子帳簿保存法への対応について知る事が出来て良かった」「ポイントとなる所を具体的に説明いただけただので、難しい内容もわかりやすかったです」「ChatGPTについては、具体例を挙げて頂き少しヒントを頂いたように思います」等意見が寄せられ、DX化について興味を持っていただけるような取組みにつながったと感じている。																																							
	代表指標	ITを活用しようという意欲が高まった企業数																																							
	数値目標	70%	実績数値	42.3%	目標達成度	60.4%																																			
成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ●M社ではクラウド会計の導入へとつながった ●N社やH社、C社ではインボイス制度を導入するきっかけとなった ●A社ではChatGPTを活用するきっかけとなった <p>等、多数の感想が寄せられた。</p>																																								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																																				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。しかし、ITを活用してみようという意欲の高まりは期待値よりも低かったのが残念である。引き続き、事業者の現在の状況や問題点を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、効果的な課題解決に向けた支援が必要と考えている。																																							

大東商工会議所

事業名		BCP策定支援事業							
想定する実施期間		26 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大規模災害になるといわれる「南海トラフ巨大地震」、地元においては上町・生駒の断層帯の地震のみならず、風水害・サイバー攻撃等様々な脅威が存在する。また、実際に30年度は大阪北部地震・台風21号により大阪府が被災地となり、近年は新型コロナウイルス感染症への対応等、企業経営における危機管理強化が望まれる中、「被害を最小限に抑え、速やかに事業を継続する」ための準備がBCPであるが、府内中小企業のBCP策定率は2割に満たないとの結果にとどまっており、未だ策定が進んでいない企業は多い状況にある。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大東市域を対象とした事業所(業種にかかわらず)							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	大東市役所にて防災に精通している専門家を講師として依頼し、令和6年2月7日(水)商工会議所3階にて開催。 ①地域リスクについての情報提供 ②BCPの概要説明 ③グループワークにてリスク分析のシュミレーション ④超簡易版BCPこれだけは！シートを実際に用いて作成演習 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府担当部署にカリキュラム内容を相談の上実施。						
		②広域連携							
	③市町村連携	広報及び地域の災害リスク等の情報提供に加え講習会の進行も依頼した。							
	④相談相乗	今回のセミナー後、巡回活動を通じ聞き取りを実施し本格的なBCPを作りだした事業所は1件のみであったが、現在は制作中のためカルテ化に至らなかったが、次年度以降専門家の派遣等支援を通じカルテ化を目指す。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	17.0	総支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	111.8%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回依頼した講師は元々危機管理に関して精通しており、又大阪府の「超簡易版BCPこれだけは！シート」の内容等も理解して頂いた上で、講義内にて参加者が策定出来るようにカリキュラムを作成していただき、2時間という限られた時間の中にもかかわらず実現出来た。 またグループワークで実際に策定した企業をもとにしたディスカッションがリアリティを生み、より深化した内容で作成する事が出来たとの声を多数頂戴した。 2社は策定後のブラッシュアップ目的ではあったが、策定した企業の声もグループワークを通じて情報交換が取られたとの声も聞く事が出来た。 能登半島地震の直後という事もあり、「地震の可能性もさる事ながら、休日時の対応についても考える契機となった。決して木造・過疎だからというわけではなく他人事ではない。」との意見も頂戴した。							
		代表指標	大阪府作成簡易版BCPシートを作成できた企業数						
		数値目標	80%	実績数値	80.0%	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	自社のBCP策定後、もう一度避難経路・避難場所の確認も兼ねて避難訓練を実施。また備蓄も実施し消費期限の半年前を目途に備蓄品の確認も兼ねた避難訓練も実施できるようBCPもこれにとどまらず見直しを実施していくとのお声を頂戴した。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	当初予定の秋頃開催を目指していたが、大東市役所側の業務多忙があった事により令和6年2月開催となり、又同年1月の能登半島地震に伴い開催が中止になる恐れもあった。今回は無事開催する事が出来たが、「開催しやすい時期・参加しやすい時間帯」などの考慮も必要であると実感した。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	16.5	支援実績率	110.0%	満足率	90.9%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	研修内において「これだけはシート」を用いて自分の会社の情報をもとに作成してもらった。しかもグループワーク後の作成という事もあり、「内容のある」シート作成につながった。							
		指標	大阪府作成簡易版BCPシートを作成できた企業数						
		数値目標	80%	実績数値	80%	目標達成度	100.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	「従業員の働く場を守る」事も重要であると同時に「地域経済の担い手として少しでも回復を図る」との思いを感じた							
		指標	本格的なBCPを策定した企業数						
		数値目標	100%	実績数値	100%	目標達成度	100.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

大東商工会議所

事業名		製造業のための安全道場							
想定する実施期間		27 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地域の主幹産業である製造業において、労働者の安全を確保する取組みを実施している事業所は少ない現状にある。経営のリスク要因を減らす意味でも、今後安全対策を実施したいと考える工業関連事業所に対し、工場の安全対策に関する情報と十分に学習できる環境を提供し、将来の労災事故を減らす啓発活動を実施する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大東商工会議所および北大阪商工会議所管内かつ自社工場内での安全対策に積極的に取組む姿勢を有する工業関連の事業所を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【実施日時】 令和5年9月1日、9月15日（大東商工会議所） 令和5年10月20日、10月27日（北大阪商工会議所） 時間はともに13時10分～16時40分							
		【場所／講師】 (株)エクセディ 寝屋川本社 / (株)エクセディ 安全衛生環境部 安全衛生チーム主査ほか							
		【具体的な内容】 ○災害事例紹介及び質疑応答 ○安全道場研修（※2グループに分かれての体感研修） ①重量物運搬訓練、②挟まれ体感機、③安全装置の役割、④安全装置の役割 ⑤高所作業教育、⑥安全帯使用吊り下げ体感、⑦感電、過電流、トラッキング体感							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
計画に対する実績（数値）		総支援企業数(計画)	24.0	総支援企業数(実績)	20.5	支援実績率	85.4%	満足率	100.0%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	アンケートを実施したところ、満足率は100%となり、以下の感想（抜粋）を頂戴した。 ○安全対策の重要性がとてもよくわかりました。 ○安全に対する考えが自分の中で変わった気がします。 ○会社で当たり前に行っていることが間違っていたこともあったので、学んだことをしっかり活かしていきたいと感じました。 ○実際にクレーンで吊られた時の感覚は体感しないと理解できないと思いました。 ○原点復帰等の動作は普段当たり前のように、意味をあまり理解せずに行ってきたが、安全のために行う作業ということを学べて良かった。 ○会社に帰って、自社の機械の安全装置がなぜこの動きなのかを教えられるようにします。 参加者の上記感想からも、本事業が参加者の安全対策に有益な情報を提供できただけでなく、参加企業の将来の労災事故を減らす啓発活動になったと考える。							
	代表指標		安全対策の意識向上及び自社の労災事故減少に有益との回答割合						
	数値目標	90%	実績数値	100.0%	目標達成度	111.1%			
	成果の代表事例	「労災事故減少に有益な情報収集ができた」もしくは「体感型研修で安全意識が向上した」と参加者36名中、36名の方より回答を頂戴した。 また、A社から「不安全行動をしないようルールを守る」、N社から「危険に対する対応のエビデンスを知ることができた」など、本事業が安全対策に有意義であったとの感想を多数頂いた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加された事業所にとって非常に有意義だと感じていただいている本事業を、次年度以降も果敢に実施したい。							